



■□ 令和7年度が始まりました。入学・進級おめでとうございます □■

令和7年4月10日に入学式・始業式を挙行し、新入生56名、2年生51名、3年生52名の全校生徒159名と教職員33名で令和7年度がスタートいたしました。

これから一年間、学校教育目標の実現に向けて、また、生徒・保護者の願い、地域の思いに応えられるように、全力で取り組んでまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。

学 校 教 育 目 標

《自主・自立の精神を持ち、仲間とともに進路を切り開く生徒の育成》

新年度を迎えるにあたって

4月10日の入学式で、新入生にむけて充実した中学生生活を過ごすための4つの話をしました。2、3年生にも共通したことで、式辞から抜粋したものを載せておきます。

一つ目。君たちはこれからの3年間で驚くほど成長します。だからこそ、一日一日を大切に過ごしてください。同じ体験でも、受け取り方でその後が大きく変わります。どんな出来事も、自分を成長させるチャンスになります。マイナスにとらえて投げやりになると、その機会を逃してしまいます。それは、とてももったいないことです。

二つ目。勉強でも運動でも、人によってできるようになるまでの時間は違います。1回でできる人もいれば、10回、100回かかる人もいます。99回目で諦めてしまえば、できずに終わってしまうかも知れません。でも、その99回の努力は、必ず自分の力になっています。そこまで努力できたことに誇りを持って下さい。

三つ目。あなたは世界にたった一人の、かけがえのない存在です。自分を大切にできる人は、他人も大切にできます。違いを認め合い、支え合うことができれば、いじめは起きません。違うことは当たり前。だからこそ、自分の存在に意味があります。

これからの社会は、個性を発揮できる人が求められます。ただし、自分勝手は個性ではありません。自分も周りも大切に、集団の中で発揮される力こそが本当の個性です。ここにいる56人の個性がうまく合わされば、すばらしい集団になると私は信じています。

最後に、困ったときは「できない」「助けて」と言える人になってください。挑戦してうまくいかなくても、その経験は必ず自分を成長させます。けれども、無理をして心が折れそうになったら、遠慮せずにSOSを出してください。そして、まわりの人はそのSOSを見逃さず、しっかり受け止めてあげてください。とくに先生方は、生徒のSOSに敏感であってください。

苦手なことやできないことは、恥ずかしいことではありません。私にもたくさんあります。人に助けられながらここまで来ました。だから、みなさんも大丈夫です。

(以上、入学式式辞より抜粋)

《お知らせ》

4月20日より産前休暇に入る教諭がいます。4月18日より、講師が赴任され、2年B組の担任と、教諭の受け持っていたクラスの英語を担当します。それまでの間、2年学年主任が2年B組の担任を兼務してくれまますので、ご報告します。